

## 討論メモ

### 「脱ロスチャイルド くたばれ拝金主義」

令和 6年3月19日

1. 3月は、森田が話題を提供し、“金がすべて”、“金が世の中を支配する”という世界の構造は変化するのかを考えてみました  
この二百年余り世界を支配してきた国際金融資本を中核とするグローバリズムに衰えや内部分裂が見え始め、一方では、ロシア、BRICS、欧米の保守勢力などを中心とするナショナリズムの台頭が際立っている。  
世界の支配構造を根本から転換するパラダイムシフト、あるいは、レジームチェンジは起こるのか？  
2月26日、ロンドン・ロスチャイルド家の第四代当主ジェイコブ・ロスチャイルド男爵が死去しました。時代の転換を象徴しているのでしょうか。  
  
森田からは下記の視点からの現状分析がありました。（詳細は専用ページのレジメをご参考ください）
  - ① 。プーチン演説  
プーチン大統領は節目ごとに内容の濃い演説を繰り返しています。ロシアの言語、文化、歴史を死守し、断固、金融資本と戦うと表明する同氏の主張は世界に拡散されている。
  - ② 。トランプ前大統領  
次期大統領候補への指名を確実にし、国民の間で支持が広がっている。DS (Deep State) の手から政治を国民の手に取り戻すと宣言している。
  - ③ ■。BRICS など第三勢力の台頭  
五か国から始まった BRICS は十一か国に増え、さらに加盟申請が相次いでいる。欧米の指示に距離を置く姿勢が強まっている。
  - ④ 。欧米の後退  
ウクライナ戦闘でも、ハマス・イスラエル戦争でも欧米の思惑通りには事が運ばなくなっている。また、欧米の国内でも反政府運動が強まっている。
  - ⑤ 。DOOR TO FREEDOM  
大手メディアは金融資本の支配を受けて、偏向報道を繰り返しているが、ネッ

トの影響力が広がっている。表題のような真実を広めようとのサイトへのアクセスが拡大している。

残念ながら、日本からの参画はなく、蚊帳の外に置かれている。

⑥。閉ざされた言語空間

日本では、相変わらず大手マスコミの影響力が強く、偏った報道に終始している。戦後 78 年経過し、むしろ偏向の度を強めているのではないか。

国民の覚醒が待たれる。

2. 引き続き出席者 10 名による自由な討論に入り、下記のような意見が出されました。

・トランプが再選されると、NATO からの撤退をにわかしているが、台湾、尖閣の防衛はどうなるのか、不安だ。

・ウクライナ戦闘を見ても分かるように、米国は兵器を売りつけるだけで、軍隊は送らない。米国に防衛を頼るのは間違いだ。

・日米同盟は対等な同盟とは言えない。日本が独立していない証だ。

・ソ連が崩壊した時点で、日米同盟は破棄すべきだった。

・ソ連が崩壊し、ワルシャワ機構が解体した時に、本来なら NATO も解体すべきだった。

・英国、イタリアと協力して戦闘機の開発が進もうとしているが、トランプが再選されるとどうなるのか。

・トランプは deal の男、どんな思いがけないことをするのか、分からない。

・グローバリズムの矛盾がトランプを生んだ。

・日本のトランプ評は大手マスコミによる偏向報道のせいだから、慎重に見極める必要がある。

・米国では、沿岸部の大都市は大手マスコミが抑えているが、中西部では中小のメディアが大手とは異なるニュースを提供している。

・米国在住の友人たちの話では、トランプ支持の拡大に見るように、米国は大きく変わりつつあるというのが、一般的な認識になっているようだが、日本にはそんな変化が全く伝わってこない。

-

・日米が対等になるためには、どうすべきか知恵を絞るべきだ。例えば、米国のいう"太平洋戦争"、日本が主張した"大東亜戦争"では、異論が出るので、先の戦争を"アジア太平洋戦争"と呼んだらよい。

・しかし、日本が戦ったのは、"大東亜戦争"であり、"アジア太平洋戦争"では歴史を伝えることにならない。こうした妥協は誤った理解を生むだけではないか。

・国連の公用語に日本語を加えるべきだ。日本の影響力を増し、日本への理解が増える。

・しかし、国連は”連合国“という戦勝国の組織であり、日独は監視されるべき敵対国のままだ。

むしろ、国連に代わる国際組織の創設に取り組むべきではないのか。

・日本が独立国として頑張るには、核武装が必要。ただ、自民党政権では安心して任せられない。

・周囲の国は核武装しているのに、日本の政府は信用できないのか。

・核武装の準備をするだけでも、抑止力になる。

・マイケル・トッドも日本は核武装すべきだと言っている。

・中国は近いうちに必ず台湾へ侵攻する。数十万、数百万の難民が日本に押し寄せる可能性があり、対策を検討しておくべきだ。

・日本ももっと英語を活用すべきだ。

・英語を重用し、日本語を使わなくなると、日本人でなくなる。英語では、一神教の価値観になってしまう。

・日本語があっこそ、日本の文化、伝統、歴史が守られる。

・日本の大学では、英語の授業が増えているが、日本語で講義してほしいとの留学生の要望もある。

・オバマが、謝罪はしなかったとはいえ、広島を訪れて原爆被害者と面談したのは良かった。岸田外交の大きな成果だ。

・オバマは、広島に来て原爆廃絶への努力を誓い、被害者を抱き寄せた。しかし、帰国後すぐに核の新技术への研究・開発にサインしている。オバマの見え透いたパフォーマンスに騙されてはいけない。

日本人の甘さ、やさしさは国際社会では通用しないし、真の独立国に成れない要因ではないか。

以上